

2026年4月1日

各 位

株式会社ビューティカダンホールディングス
(コード番号：3041 東証スタンダード)

**京都大学と受託研究契約を締結
廃棄花材由来セルロースの実用化検討フェーズへ**

《概要》

本件委託者である株式会社ビューティカダンホールディングス（本社：熊本県熊本市、代表取締役社長：舩田正一 以下、「当社」という）は、当社グループの事業活動において発生する廃棄花材の有効活用を目的として、菊の花茎からセルロース（※）を抽出・分析し循環型利活用を目指す研究について、国立大学法人京都大学（京都府京都市左京区 学長 湊長博 以下、「京都大学」という）と受託研究契約を締結いたしました。

本研究は2025年4月より実施した第1期受託研究の成果を踏まえ、抽出したセルロースの用途展開や製品化の可能性の検討を進める実用化検討フェーズとして実施するものです。※セルロースは植物の細胞壁や繊維の主成分で、地球上で最も多く存在する炭水化物であり、食品・紙・衣料品・化粧品・医薬品など、幅広い分野で利用されています。

《研究の背景・内容》

近年、環境負荷の低減と資源循環の重要性が高まる中、フラワービジネスにおける廃棄物削減は喫緊の課題となっております。また、当社グループでは年間3000万円以上の廃棄コストが発生しており、特に生花祭壇や供花で使用される菊類の花茎の処理が大きな負担となっております。

こうした状況の中、当社は2025年4月より、京大大学生存圏研究所に所属する西村裕志 特定准教授の研究グループに対し、菊の花茎からセルロースを抽出・分析する受託研究を実施してきました。その結果、菊の花茎からセルロースを効率的かつ安定的に抽出することに成功しました。

これらの成果を踏まえ、今回の第2期受託研究では、抽出したセルロースの用途展開やサンプル提供を通じて製品化の可能性を検討するとともに、企業との連携も視野に入れながら実用化に向けた基礎的検証を進めてまいります。

今後とも、これまでの生花祭壇事業で培った知見を活かし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速させてまいります。

《研究概要》

研究テーマ：バイオマスに関する学術研究と利活用展開

研究担当者：西村裕志（京都大学生存圏研究所 特定准教授）

研究期間：2026年4月1日～2027年3月31日

研究実施場所：京都大学生存圏研究所

研究目的：菊の花茎由来セルロースの抽出・分析、循環型利活用可能な高付加価値製品の開発に向けた基礎実験および用途検討

《会社概要》

会社名：株式会社ビューティカダンホールディングス

所在地：熊本県熊本市南区流通団地 1-46

代表者：代表取締役社長 舩田正一

事業内容：生花祭壇事業、生花卸売事業、ブライダル装花事業

《参考》



使用後、回収



セルロース抽出



プラスチック類・紙類・
繊維類等の代替品へ

《お問い合わせ先》

株式会社ビューティカダンホールディングス 広報担当

TEL：096-370-0004

Email：ir-info@beauty-kadan.co.jp

Web サイト：<https://www.beauty-kadan.co.jp>